

労働局 番号	労働局 名	I 令和6年度第1回協議会での議論の令和7年度計画案への反映状況				II 令和6年度第2回協議会での議論			
		(a) 地域の人材ニーズの把握 ※＜意見等＞、＜対応方針＞は原則第1回地域協議会の転記 ※必要に応じて赤字で追記等すること。	(b) 公的職業訓練の実施状況の検証 ※＜意見等＞、＜対応方針＞は原則第1回地域協議会の転記 ※必要に応じて赤字で追記等すること。	(c) 訓練効果の把握・検証等（ワーキンググループ（WG）の効果検証等） ※＜意見等＞、＜対応方針＞は原則第1回地域協議会の転記 ※必要に応じて赤字で追記等すること。	(d) その他の職業能力開発促進のための取組 ※＜意見等＞は原則第1回地域協議会の転記 ※必要に応じて赤字で追記等すること。	(e) 地域職業訓練実施計画の策定方針（次年度計画に関すること） ※＜意見等＞、＜対応方針＞は原則第1回地域協議会の転記 ※必要に応じて赤字で追記等すること。	令和7年度計画案の審議（f）	令和7年度のワーキンググループ（WG）の方針（g）	その他の職業能力開発促進のための取組（h）
35	山口	<p>＜意見等＞ ①学校法人VTC学院から厚生労働省委託事業「受給者の特性に応じた就職訓練手続の構築・普及促進事業」の「DX推進ができる心活用サポーター養成訓練プログラムの開発とその実効性を高める出張型女性求職者トータルサポートシステムの構築」の事業概要と進捗状況について説明。 ②文部科学省委託事業「専門職業人材の最新技術アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業」の「教育・研究・サービス業者の協働型リスキリングのモデル構築事業」の概要について説明。 ○上記説明に対して委員からの意見なし</p>	<p>＜意見等＞ 令和6年度における公的職業訓練の実績について、山口県、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構山口支部及び労働局から説明。 ○意見1 IT分野における就職率が低調に見えるが、その要因は如何。 ○意見2 充足率が低調な若年者訓練への対応は如何。 ○意見3 令和5年度に実施された観光分野の求職者支援訓練の実施状況は如何。 ○意見4 高齢者の職業訓練あっせん状況の分析は如何。</p>	<p>＜意見等＞ ○概要説明 令和5年度は、「医療・福祉・介護分野」を検証し、以下のとおり概要を説明。 ・訓練実施機関は、受訓生同士のコミュニケーションを高め、実技の訓練や中途退校防止に努めている。 ・企業側は、「介護における基本知識」、介護を実施するための実技」、コミュニケーションスキル」が必要との意見が多くあった。 ・訓練生からは、高齢者介護（機能維持訓練）だけでなく、障害者介護（機能回復訓練）のノウハウや「職場見学、職場体験及び職場実習」は見ることでも役に立つという意見があった。 ・現行の訓練期間では、決められる人材の育成が難しいため、期間を1年間とし、基礎、応用、実践まで学ぶことができれば改善するべきなどの報告があった。 ・関係者からは学習の範囲で可能なものから実施してほしいとの意見があった。 ○公益財団法人介護労働安定センター山口支部から介護業務に関する現状等の説明 ○意見1 協議会は、WGの検証結果を報告する場なのか？</p>	<p>＜意見等＞ ①令和6年度の「医療・福祉・介護分野」を検証し、以下のとおり概要を説明。 ・訓練実施機関は、受訓生同士のコミュニケーションを高め、実技の訓練や中途退校防止に努めている。 ・企業側は、「介護における基本知識」、介護を実施するための実技」、コミュニケーションスキル」が必要との意見が多くあった。 ・訓練生からは、高齢者介護（機能維持訓練）だけでなく、障害者介護（機能回復訓練）のノウハウや「職場見学、職場体験及び職場実習」は見ることでも役に立つという意見があった。 ・現行の訓練期間では、決められる人材の育成が難しいため、期間を1年間とし、基礎、応用、実践まで学ぶことができれば改善するべきなどの報告があった。 ・関係者からは学習の範囲で可能なものから実施してほしいとの意見があった。</p>	<p>＜意見等＞ ②7年度計画方針（案）について、概ね6年度計画を継承、継続する旨、説明。 ○計画方針（案）に対して委員からの意見なし。</p>	<p>＜意見等＞ ・事務局から令和7年度計画案について説明、原則、令和の年度の計画を基に策定した。 ・各委員からは特に反対意見もなく了承を得た。</p>	<p>＜事務所の訓練分野の選定案、選定理由＞ 【選定した訓練分野】 「IT分野」 【選定理由】 ・各委員から効果・検証を実施する訓練分野についてアンケートを実施。その結果、「IT分野」が選ばれた。 ・令和5年度に「IT分野」と「デザイン分野」を合わせ、デジタル分野として効果・検証を実施した。7年度は、「IT分野」のみで実施し、令和5年度の効果・検証との進展状況を確認することとした。</p>	<p>＜共有内容、意見等＞ ・2028年度に開催される「技能五輪国際大会」の機運醸成を図るため、山口県、JTELD、職業能力開発協会等と連携し、 ①ハローワーク周知キャンペーン ②各機関が実施するイベント等への協力 ③技能検定やものづくりマスターの周知などの取組を実施することとした。</p>
		<p>＜対応方針＞ ○特になし</p>	<p>＜対応方針＞ ○意見1 eラーニング訓練での終了者に対する就職支援が不十分であったと懸念。別のコースでは高い就職率で、IT分野だから高いということではな。なお、ハローワーク職員に対する「デジタル分野」の理解促進を目的とした研修を実施し、職業根拠の知識向上を図っている。 ○意見2 筆算技術学校の周知広報に力を入れている。高等学校に対し、オープンキャンパスや訓練指導員の訪問などを実施。 ○意見3 定員15名を2名で開講。6年度は「観光コース」での計画を設定していない。 ○意見4 年齢別による訓練分野別の就職状況等の把握は行っていない。今後、資料作成に反映させていきたい。</p>	<p>＜対応方針＞ ○意見1 令和7年度以降の介護分野の訓練に、検証結果や委員の意見が反映されるかは不明だが、検証結果について訓練に導入される実施機関への説明資料にはなると考えている。</p>	<p>＜対応方針＞ ○特になし</p>	<p>＜対応方針＞ ○特になし</p>	<p>＜対応方針、最終的な計画への反映状況＞ ○特になし</p>	<p>＜意見等＞ ○特になし</p>	
		<p>＜計画案への反映状況＞ ・前年度の実績及び方針に基づき訓練計画を策定する。成長分野に関する事業を効果的な進捗を図る。</p>	<p>＜計画案への反映状況＞ ・前年度の実績及び方針に基づき訓練計画を策定する。</p>	<p>＜計画案への反映状況＞ ・介護業界の能力開発や訓練コースの内容・効果の周知について強化を図るとともに、デジタルリテラシー及びコミュニケーションスキルの向上に努める。</p>	<p>＜計画案への反映状況＞ ・県内の職業能力開発に関するイベント等への連携・協力 ハローワークをはじめ技能五輪、技能検定及びものづくりマスターなどの周知啓発を図るため、前、述及び関係機関と協力・連携して周知を図ることとする。</p>	<p>＜計画案への反映状況＞ ・委員から了承された計画により策定した。</p>	<p>＜最終的な訓練分野、検証方針＞</p>		